

# 第173号議案

令和2年度

新 城 市  
病 院 事 業 会 計  
補 正 予 算 ( 第 1 号 )

令和2年度新城市病院事業会計補正予算（第1号）

（総則）

第1条 令和2年度新城市病院事業会計の補正予算（第1号）は、次に定めるところによる。

（収益的収入及び支出）

第2条 令和2年度新城市病院事業会計予算（以下「予算」という。）第3条に定めた収益的収入及び支出の予定額を次のとおり補正する。

（科目）	（既決予定額）	（補正予定額）	（計）
	収	入	
第1款 病院事業収益	3,655,595 千円	10,703 千円	3,666,298 千円
第2項 医業外収益	505,154 千円	10,703 千円	515,857 千円
	支	出	
第1款 病院事業費用	4,047,979 千円	5,280 千円	4,053,259 千円
第1項 医業費用	3,946,602 千円	5,280 千円	3,951,882 千円

（資本的収入及び支出）

第3条 予算第4条本文括弧書中「過年度分損益勘定留保資金121,722千円」を「過年度分損益勘定留保資金107,585千円」に改め、資本的収入の予定額を次のとおり補正する。

（科目）	（既決予定額）	（補正予定額）	（計）
	収	入	
第1款 資本的収入	551,793 千円	14,137 千円	565,930 千円
第1項 補助金	360 千円	14,137 千円	14,497 千円

令和2年12月4日 提出

新城市長 穂積亮次

令和2年度新城市病院事業会計補正予算（第1号）説明書  
 令和2年度新城市病院事業会計補正予算（第1号）実施計画

収益的收入及び支出

収 入

款	項	目	既決予定額	補正予定額	計	備考
1 病院事業収益			千円 3,655,595	千円 10,703	千円 3,666,298	
	2 医業外収益		505,154	10,703	515,857	
		4 補助金	37,513	10,703	48,216	

支 出

款	項	目	既決予定額	補正予定額	計	備考
1 病院事業費用			千円 4,047,979	千円 5,280	千円 4,053,259	
	1 医業費用		3,946,602	5,280	3,951,882	
		3 経費	714,250	5,280	719,530	

資本的收入及び支出

収 入

款	項	目	既決予定額	補正予定額	計	備考
1 資本的收入			千円 551,793	千円 14,137	千円 565,930	
	1 補助金		360	14,137	14,497	
		1 国県補助金	360	14,137	14,497	

令和2年度新城市病院事業  
 予定キャッシュ・フロー計算書  
 (令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

(単位：千円)

I 業務活動によるキャッシュ・フロー	
当年度純利益 (△は損失)	△ 431,331
減価償却費	283,734
長期前払消費税償却	12,497
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	5,484
賞与引当金の増減額 (△は減少)	1,056
法定福利費引当金の増減額 (△は減少)	△ 107
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	1,379
長期前受金戻入額	△ 134,726
受取利息及び受取配当金	△ 2,010
支払利息	41,341
固定資産除却費	5,662
有形固定資産売却損	1
有形固定資産売却益	△ 1
未収金の増減額 (△は増加)	991
未払金の増減額 (△は減少)	168,343
たな卸資産の増減額 (△は増加)	198
その他	△ 28,053
小計	△ 75,542
利息及び配当金の受取額	2,010
利息の支払額	△ 41,341
業務活動によるキャッシュ・フロー	△ 114,873
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の売却による収入	1
有形固定資産の取得による支出	△ 255,045
長期貸付金の貸付による支出	△ 11,400
国県補助金等による収入	175
一般会計又は他の特別会計からの繰入金による収入	259,345
その他投資の取得による支出	△ 390
その他投資の回収による収入	375
長期貸付金の回収による収入	600
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 6,339
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	223,300
建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△ 376,250
リース債務の支払による支出	△ 4,926
他会計からの出資による収入	82,135
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 75,741
資金増加額(又は減少額)	△ 196,953
資金期首残高	2,330,836
資金期末残高	2,133,883

令和2年度新城市病院事業予定貸借対照表

(令和3年3月31日)

(単位：千円)

		資 産 の 部		
1 固 定 資 産				
(1)	有 形 固 定 資 産			
	イ 土 地		65,676	
	ロ 建 物	5,797,236		
	減価償却累計額	<u>△ 3,741,841</u>	2,055,395	
	ハ 建物附属設備	4,814,464		
	減価償却累計額	<u>△ 4,400,303</u>	414,161	
	ニ 構 築 物	217,456		
	減価償却累計額	<u>△ 180,225</u>	37,231	
	ホ 器 械 備 品	2,416,610		
	減価償却累計額	<u>△ 1,784,207</u>	632,403	
	ヘ 車 両	16,018		
	減価償却累計額	<u>△ 15,149</u>	869	
	ト リース資産	68,683		
	減価償却累計額	<u>△ 64,628</u>	4,055	
	有形固定資産合計			3,209,790
(2)	無 形 固 定 資 産			
	イ ソフトウェア		1,275	
	無形固定資産合計			1,275
(3)	投 資 そ の 他 の 資 産			
	イ 投資有価証券		99,905	
	ロ 長期貸付金	37,450		
	貸倒引当金	<u>△ 14,400</u>	23,050	
	ハ 長期前払消費税		260,491	
	ニ 破産更生債権等	5,586		
	貸倒引当金	<u>△ 5,586</u>	0	
	ホ その他投資資産		1,373	
	投資その他の資産合計			384,819
	固定資産合計			3,595,884
2 流 動 資 産				
(1)	現 金 預 金		2,133,883	
(2)	未 収 金		582,234	
	貸倒引当金	<u>△ 1,926</u>	580,308	
(3)	貯 蔵 品		35,166	
(4)	そ の 他 流 動 資 産		0	
	流動資産合計			2,749,357
	資 産 合 計			<u>6,345,241</u>

負債の部

3 固定負債

(1) 企業債

イ 建設改良費等の財源に  
充てるための企業債

993,142

993,142

企業債合計

(2) リース債務

2,171

(3) 引当金

イ 退職給付引当金

792,312

ロ 修繕引当金

67,128

引当金合計

859,440

固定負債合計

1,854,753

4 流動負債

(1) 企業債

イ 建設改良費等の財源に  
充てるための企業債

367,237

367,237

企業債合計

(2) リース債務

1,736

(3) 未払金

397,124

(4) 引当金

イ 賞与引当金

113,165

ロ 法定福利費引当金

20,300

引当金合計

133,465

(5) その他流動負債

16,535

流動負債合計

916,097

5 繰延収益

長期前受金

2,030,463

収益化累計額

△ 1,707,633

繰延収益合計

322,830

負債合計

3,093,680

資本の部

6 資本金

6,408,810

7 剰余金

(1) 資本剰余金

イ 受贈財産評価額

2,593

資本剰余金合計

2,593

(2) 利益剰余金

イ 減債積立金

126,183

ロ 当年度未処理欠損金

3,286,025

利益剰余金合計

△ 3,159,842

剰余金合計

△ 3,157,249

資本合計

3,251,561

負債資本合計

6,345,241

## 注記

### I. 重要な会計方針

#### 1 資産の評価基準及び評価方法

##### (1) 有価証券の評価基準及び評価方法

- ・満期保有目的債券 償却原価法(定額法)

##### (2) たな卸資産の評価基準及び評価方法

- ・貯蔵品

先入先出法による原価法(貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定)

#### 2 固定資産の減価償却の方法

##### (1) 有形固定資産(リース資産を除く)

- ・減価償却の方法

建物	定額法
建物附属設備	定額法
構築物	定額法
器械備品	定額法
車両	定額法

- ・主な耐用年数

建物	7～39年
建物附属設備	6～40年
構築物	5～60年
器械備品	2～20年
車両	4～10年

##### (2) リース資産

- ・所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産

自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法を採用している。

- ・所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価格を零とする定額法を採用している。

#### 3 引当金の計上方法

##### (1) 退職給付引当金

職員の退職手当の支給に備えるため、当事業年度末における退職手当の要支給額に相当する金額のうち、「職員の退職手当に係る取扱いに関する覚書」に基づき、一般会計が負担する部分を除く額を計上している。

##### (2) 賞与引当金

職員の期末手当・勤勉手当の支給に備えるため、当事業年度末における支給見込額に基づき、当事業年度の負担に属する額を計上している。

##### (3) 法定福利費引当金

職員の期末手当・勤勉手当にかかる法定福利費の支払に備えるため、当事業年度末における支払見込額に基づき、当事業年度の負担に属する額を計上している。

##### (4) 貸倒引当金

債権の不納欠損等による損失に備えるため、実績率等による回収不能見込額を計上している。

(5) 修繕引当金

平成26年3月31日以前に引き当てられたものについて計上する。

4 その他会計に関する書類の作成のための基本となる事項

(1) 消費税及び地方消費税の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっている。なお、控除対象外消費税等については、当事業年度の費用として処理している。ただし、固定資産に係る控除対象外消費税等については、長期前払消費税勘定に計上し、20年間で均等償却を行なっている。

II. 予定貸借対照表等に関する注記

1 企業債の償還に係る他会計の負担

貸借対照表に計上されている企業債（1年内に償還予定のものも含む）のうち、他会計が負担すると見込まれる額は、714,420千円である。

III. セグメント情報に関する注記

1 報告セグメントの概要

病院事業会計は、報告セグメントが1つのため、記載を省略している。

IV. その他の注記

1 引当金の取り崩し

(1) 退職給付引当金の目的使用による取り崩しについて

当事業年度において、退職手当として102,698千円を支給するため、退職給付引当金102,698千円を使用する。

(2) 賞与引当金の目的使用による取り崩しについて

当事業年度において、期末勤勉手当として360,433千円を支給するため、賞与引当金119,986千円を使用する。

(3) 法定福利費引当金の目的使用による取り崩しについて

当事業年度において、期末勤勉手当に係る法定福利費として65,662千円を支払うため、法定福利費引当金22,135千円を使用する。

(4) 貸倒引当金の目的使用による取り崩しについて

当事業年度において、破産更生債権等472千円を不納欠損とするため、貸倒引当金472千円を使用する。

(5) 修繕引当金の目的使用による取り崩しについて

当事業年度において、予算に予定されていない1件あたり税抜価格で1,000千円を超える修繕費を支出するため、修繕引当金を使用する。



令和2年度新城市病院事業会計補正予算（第1号）事項別明細書

収益の収入及び支出

収 入

（1款）病院事業収益

2項 医業外収益

目	既決予定額	補正予定額	計
	千円	千円	千円
4 補助金	37,513	10,703	48,216
医業外収益計	505,154	10,703	515,857
収益の収入合計	3,655,595	10,703	3,666,298

支 出

（1款）病院事業費用

1項 医業費用

目	既決予定額	補正予定額	計
	千円	千円	千円
3 経費	714,250	5,280	719,530
医業費用計	3,946,602	5,280	3,951,882
収益の支出合計	4,047,979	5,280	4,053,259

資本的収入及び支出

収 入

（1款）資本的収入

1項 補助金

目	既決予定額	補正予定額	計
	千円	千円	千円
1 国県補助金	360	14,137	14,497
補助金計	360	14,137	14,497
資本的収入合計	551,793	14,137	565,930

節		説明
区分	金額	
1 補助金	千円 10,703	愛知県新型コロナウイルス感染症対策事業補助金等

節		説明
区分	金額	
15 委託料	千円 5,280	オンライン資格確認対応委託

節		説明
区分	金額	
1 国県補助金	千円 14,137	愛知県新型インフルエンザ等患者入院医療機関等設備整備費補助金